

質問及び意見・要望等に対する回答について

1 各会場において回答した主な質疑の内容

No.	質問及び意見・要望等	議会からの回答
1	<p>ふるさと寄附金として、8億円を超える寄附を頂いているが、件数としては何件なのか。</p> <p>また、ふるさと寄附金の返礼品の予算について伺いたい。</p>	<p>詳細な件数は把握していないが、9,000件以上と聞いている。また、返礼品には、寄附金額の4割から6割程度のコストが掛かっている。</p>
2	<p>地方創生において、本年度の新たな職員募集や様々な分野におけるマンパワーをどう活かしていくのか。どういう体制で、日立市の地方創生に向けて動いていくのか教えてほしい。</p>	<p>日立市においては、市長公室の中に地方創生担当という専門のセクションを設置し、そこを中心に各セクションと連動して日立市の地方創生に向けた取組を行っている。</p>
3	<p>日立紅寒桜は日立市の貴重な資源であり、桜のまちづくりを推進するためには、更なるPRが必要ではないか。</p>	<p>日立紅寒桜の植栽は進めているが育成が難しい。将来に向け、日立紅寒桜の育成に取り組み、桜のまちづくりを推進したい。また、PRについては、今後も継続して実施する必要があると理解している。</p>
4	<p>小木津山自然公園でも松はほとんど無くなってしまったが、景観を考えると、杉よりも松がよい。市でも対策はとっていると思うが、公園や沿岸部などにおいて、松の植林は行っているのか。</p>	<p>相当数の松が松くい虫の被害を受けている現状は把握している。対策として、まず枯れた樹木は伐採し、そして、松くい虫の防除という観点で進めているが、進行度合いが早く、対応が追い付いていないかもしれない。</p> <p>また、現状で松の植林は行っていないが、今後議論を重ねていきたい。</p>
5	<p>駅周辺に防犯カメラを設置するとのことだが、児童・生徒の見守りのため学校周辺に設置する予定はないのか。</p>	<p>今年度は、駅周辺を予定している。今後は、徐々に設置箇所を広げていく予定であり、各党派としても予算要望を継続していく。</p>
6	<p>ふるさと寄附金を活用して、折笠スポーツ広場自由広場を人工芝生化するとのことだが、工事により自由広場が使用できない期間について伺いたい。</p>	<p>本年度中に工事が完了する計画と聞いている。現在、詳細な工事内容を検討しているため、自由広場が使用できない期間については、今後、市報などで広報する。</p>
7	<p>地域創生の取組の中で「お誕生おめでとう事業」を掲げているが、第1子から第3子について金額に差があるのはなぜか。</p> <p>また、日立市に移り住んで来る人に対し、固定資産税等を免除してはどうか。</p>	<p>少子化対策として取り組む事業なので、金額に差があることを御理解いただきたい。</p> <p>なお、子育て世帯に対する住宅取得等の支援事業について、今年度も実施している。</p>

8	<p>近隣市町村と比べて、保育料が高いのではないかと。 また、アパート等への入居に対する補助の状況はどのようになっているのか。</p>	<p>保育料について、今年度から、0～3歳までが平均で25%、3～5歳で8%の減額を始めており、県北地域では3番目に低い水準となる。 また、現時点では、住居に対する補助は行っていない。</p>
9	<p>ひたちBRTに関して多くの予算が計上されているが、完成するとどのようなメリットがあると認識しているのか。</p>	<p>日立電鉄線がなくなり、それをカバーするためにひたちBRTはつくられている。ひたちBRTは2～3キロおきに駅をつくるので、活用してほしい。 また、路線に並行して市道も新設するので、バスに乗る人も車で移動する人もJR駅までのアクセスの向上、利便性の向上につながる。 駅までの利便性が向上すれば、それにより人の交流が活発になるので、地域が活性化するメリットがあると認識している。 是非、日立市全域にとってもメリットがあるものと考えていただきたい。</p>
10	<p>国道6号大和田拡幅は、いつ工事が完了するのか。</p>	<p>拡幅事業の主体は国であり、早期に事業が完了するよう強力に申入れをしている。また、山側道路との交差点までを優先的に整備するよう要望を出している状況である。</p>

2 執行部に詳細を確認した主な質疑の内容

No.	質問及び意見・要望等	執行部からの回答
1	<p>防犯灯（水銀灯）の電気代を町内会で負担しているが、高額である。防犯灯というより道路照明灯の意味合いが強いため、市の管理にはならないのか。 他市町村においては、街灯の費用を行政が負担しているので、当市も負担すべきではないか。また、街灯と防犯灯の区分を教えてください。</p>	<p>街灯は、道路照明灯や防犯灯などの総称であり、道路照明灯は、国道、県道、市道それぞれの道路管理者が、交通量の多い幹線道路や道路の急カーブ、交差点及び横断歩道などに設置し、防犯灯は、これら以外の市街地などにおいて、主に防犯上の理由から町内会などが設置している。 また、防犯灯については、その設置費用の一部を市が補助しており、平成24年度以降は、電灯の寿命が長く、電気料金も安いLED灯を補助の対象としているので、この補助金を活用し、水銀灯からの交換を検討していただきたい。 他の自治体では、防犯灯を設置している場合や、防犯灯の設置費用や電気代の全部又は一部を補助している場合など、取扱いは様々である。</p>

		<p>本市では、防犯灯の整備と運用の在り方について、今年度から現状の把握を行い、関係機関等の意見等も踏まえた検討を行うこととしている。</p>
2	<p>久慈川の洪水に対して、市はどのように対応するのか。</p> <p>ハザードマップで浸水が想定される地域には、避難タワーをつくるなどの対策を考えてほしい。</p> <p>また、洪水時の車の避難場所として南高野貝塚公園を整備し、利用してはどうか。</p>	<p>久慈川の洪水への対応について、水位が避難判断水位に迫ると判断される場合、避難準備情報を発表し、以降、段階的に避難勧告、避難指示を発令し、浸水想定区域外へ避難していただくことを基本としている。なお、夜間に水位の上昇が予測される場合は、早めに避難準備情報を発表するなどの対応を図ることとしている。</p> <p>また、今後、国が平成28年5月に公表した久慈川の洪水浸水想定区域図に基づき、ハザードマップを改定する予定である。</p> <p>南高野史跡公園（南高野貝塚公園）は、既に坂下地区が一時避難場所として位置付けており、既設の34台の駐車場があるが、その他のエリアには多数の横穴等の史跡が点在していることから、新たな整備は困難と思われる。</p> <p>また、本市では、地域防災計画において、避難手段については、徒歩による避難を原則としている。自動車による避難については、要配慮者がいる場合や時間的余裕がないなどの場合に限定しており、その際の避難先は、小・中学校などの指定避難場所となる。</p>
3	<p>南部地区における消防署の集約において、救急業務は別に考えてはどうか。</p>	<p>（仮称）南部消防署における救急業務については、統合により救急自動車を減ずることなく維持していくため、現在と同様の救急サービスが提供できると考えている。</p> <p>また、本市では、ドクターカーの運用に加え、平成28年4月1日から運用を開始したラピッド方式ドクターカーの導入により、救命率の向上が期待されており、更なる消防力の強化につながっている。</p> <p>加えて、早い通報・早い応急対応といった行動が救命効果を高める要素でもあることから、自主防災も含めた総合的な消防力の充実・強化を目指していく。</p>

4	<p>日立市池の川さくらアリーナの維持管理費はどうなっているのか。野球場の駐車場が不足しており、駐車場の2層化なども検討してはどうか。</p>	<p>来年1月にオープン予定の日立市池の川さくらアリーナを含む市民運動公園の施設は、平成28年10月1日から日立市体育協会・ミズノグループが指定管理者として管理運営を行っている。</p> <p>日立市池の川さくらアリーナの維持管理費は、10月からの半年間で約5,000万円であるが、来年度以降の維持管理費については、オープン後の実績を踏まえて算出していく。</p> <p>駐車場については、今年度からテニスコート西側に臨時駐車場の整備を進めており、さらに、日立市池の川さくらアリーナ前の駐車場が年内に完成予定である。このため、駐車可能台数は、従前より約650台増え、市民運動公園全体で約1,500台となる。今後の整備については、駐車状況等を踏まえ検討していく。</p>
5	<p>原子力災害に対する避難計画を発表している市町村があるが、市ではどのようになっているのか。</p>	<p>本市を含む東海第二発電所から30km圏内にある14市町村は、全て原子力災害の発生に備えた広域避難計画を策定することとなっており、既に計画案や骨子案を発表している自治体もある。</p> <p>本市では、茨城県広域避難計画において、避難先が福島県内の17市町村とされたことから、現在、避難先市町村との協議を行うなど、「日立市広域避難計画」の策定作業を進めている。</p> <p>今後、市民への説明を丁寧に行うとともに、市民の意見も踏まえながら、各地域の避難先や避難ルート、移動手段などの検討を進め、避難計画を策定していく。</p>
6	<p>災害時の給水場所については、東日本大震災後に増やしたようであるが、場所によっては、駐車スペースがなく混雑が予想される。駐車場のことを考えて場所を決めているのか。</p>	<p>災害時等における給水拠点については、東日本大震災の教訓を踏まえ、円滑かつ迅速な給水が行えるよう設置場所、設置数等を見直した結果、現在は、市民の方が徒歩で行けるよう、おおむね半径1.5km圏内に1箇所（市内に22箇所）としている。</p> <p>しかし、女性や高齢者が、徒歩で水を持ち運ぶのは負担が大きいなどの課題もあるため、現在、給水拠点の設置数等を再検討しているところであり、</p>

		駐車場の確保についても、給水拠点の再検討の中で調査・研究していく。
7	<p>市道36号線と市道18号線は、車両の相互通行が難しく、緊急車両の通行にも支障を来すほど狭い。</p> <p>また、通学時大変危険なため、市有地を整理し、幅員を確保してほしい。</p>	<p>日立南太田IC周辺地区は、幅員の狭い道路が多いことから、順次、道路整備を実施している。</p> <p>市道36号線（大和田町～下土木内町）は、国道6号に直結する道路として、周辺の土地利用を視野に入れながら、平成29年度から改良事業に着手したいと考えている。</p> <p>また、市道18号線（神田町～茂宮町）については、市道36号線の整備の進捗状況を踏まえながら、事業化の時期や幅員等を検討していく。</p>
8	旭町2丁目地内の堤防へ降りる歩道は、津波発生時の避難路としての役割もある。手摺りが老朽化しているため、早急に改修してほしい。	当該手摺りの補修については、6月に実施した。
9	減反政策について、市独自の補助金はあるが、国の補助が下がれば同じように下げてくる。市の取組が見えない。	<p>米の生産調整（減反政策）は、昭和46年から実施され、米の受給・価格の安定を確保する上で最も重要な手段として位置付けられており、現在も継続している。</p> <p>この間、国において様々な政策が打ち出されており、市単独事業についても国の政策との整合性を図りつつ、予算の範囲内において補助内容・補助単価等を見直しながら実施してきた。</p> <p>本市においては、水田の荒廃を防ぐ観点から主食用米に代え、需要の見込まれる飼料用米の作付けに重点を置き推進している。</p> <p>今年度は、飼料用米の作付け10アール当たりの交付額を増額しており、作付面積も昨年度に比べ増加している。</p>
10	生活指導員の勤務時間は、1日約5時間とのことだが、児童が学校にいる時間は約8時間であり、残りの3時間は、生活指導員が不在となってしまう。この3時間についても生活指導員を配置してほしい。	<p>生活指導員を配置している児童生徒の状況は様々であるため、各児童生徒に応じて支援する時間や内容を決めている。</p> <p>生活指導員の勤務時間は4時間50分であるが、出勤時間や退勤時刻を変えて勤務することにより、児童生徒のニーズに対応している。</p>
11	コミュニティ推進協議会の青少年育成事業の一環として、宿泊学習を中小路交流センターで実施している。中小路交流センターは、市民	市民会館や支所と複合施設になっている交流センターは市内に4施設あり、利用者に御不便をお掛けすることもあるが、各施設の指定管理者におい

	<p>会館と一体の施設のため、管理上ガードマンが必要であり、人気イベントのチケット発売日と重なった場合などは、出入口付近が混雑する状況になる。中小路交流センターの利便性向上のため、独立した施設にしてほしい。</p>	<p>て、安全・安心・快適に利用していただけるよう施設の管理運営を行っている。</p> <p>今後、より利用しやすい施設となるよう、取組を進めていく。</p>
12	<p>カーブミラーを要望したがまだ設置されていない。早急に設置をしてもらいたい。</p>	<p>カーブミラーを東京電力柱に共架するため、東京電力と協議した結果、承諾が得られ、10月に設置を完了した。</p>
13	<p>法面の樹木について、交通に支障があるものは道路管理課で伐採するが、虫の害等については、どこへ連絡すればよいのか。</p>	<p>市道敷にある樹木が道路利用者に対し支障となる場合、樹木枝の選定や樹木の伐採を行っている。また、毛虫等害虫駆除についても、道路管理課において実施するので連絡願いたい。</p> <p>なお、市道敷以外の樹木については、各施設管理者が適正な管理を行うことになる。</p>
14	<p>河原子町4丁目の道路整備はどうなっているのか。</p>	<p>国道245号から約45mの区間については、舗装の老朽化、凹凸等に伴う舗装整備を今年度を実施した。その先線については、年次計画にて舗装整備を実施していきたいと考えている。</p>